
サンパウロ大学 交換留学 月例報告書 (11月)

国際文化学科3年 北島未悠

はじめに

サンパウロ大学^{ウスビ}に交換留学中の北島未悠です。最近、ポルトガル語力の向上を感じたり、ブラジル人の友達との仲が深まったりと、USPでの留学生活がますます楽しくなっています。今月は、一言で表すと「文化的で学びの多い1カ月」でした。授業やイベント、訪れた博物館や美術館などについてご報告します。

USPの授業

ポルトガル語をSUACの授業と独学で1年間ずつ学んだだけの私にとって、すべてポルトガル語で行われるUSPの授業は非常に難しいです。それでも、教授の話す内容の理解度が上がったり、自分の意見を詳しく話せたりと、成長を感じています。以下のとおり、私が受講している授業をご紹介します。

① Língua e Cultura Brasileira –ブラジルの言葉と文化– (週2回)

留学生向けのポルトガル語の授業です。単語や文法が説明されることは少なく、クラスメイトとの会話を取り入れながら、ポルトガル語の特徴やブラジル文化を学んでいます。クラスメイトのほとんどがヨーロッパ出身の留学生だったので、それぞれの母語ならではのポルトガル語の発音も知ることができました。

② Aspectos da Cultura Brasileira –ブラジル文化の側面– (週1回)

こちらも留学生向けの授業です。移民の歴史や文学、地理や音楽など、様々な切り口からブラジル文化を学んでいます。各回、授業のテーマを専門分野とするそれぞれの教授が登壇するのも魅力的です。有難いことに、教授が易しめのポルトガル語を話してくれる時もあります。今までの授業の中では、アルメニア人移民の話が特に印象に残っています。街中の看板や店名などにあるアルメニア語の名残に気づくようになりました。

③ Cultura Japonesa –日本文化– (週1回)

ブラジル人学生向け、かつ完全ポルトガル語の授業に挑戦したいという気持ちのもと、春学期からUSPに留学している日本人留学生の薦めを受け、受講を決めました。授業内容は、鎌倉～江戸時代の文化史です。私は高校時代に日本史専攻でしたが、それとは異なる視点で戦術や人権、都市構成などのテーマが深掘されるため、新たに学ぶ事柄も多いです。歴史の専門用語が頻出するので、他の授業よりも難しく感じています。ですが、用語を覚えたおかげか、博物館や美術館で展示品のポルトガル語の説明をよく理解できるようになりました。

④ Língua Japonesa Moderna –現代日本語– (週2回)

留学前から最も楽しみにしていた授業です。日本語専攻のブラジル人学生に私一人交じって受講しています。SUACで履修していた日本語教員養成課程では、主に生活者や就労者を対象とした初級レベルの教授法を学んでいました。一方、USPの日本語の授業では、「文学部」として文学理論の研究や読解力の向上に力を入れているため、今まで学んできた教授法とは全く異なる教授法が用いられています。特に、日本語の文法や概念がポルトガル語でどのように説明されるのか、いつも興味津々です。また、私は上・超級レベルのクラスを受講しており、複雑な文構造の日本語をポルトガル語に訳したり、文法的な説明をしたりする機会が多々あります。そのため、私にとって、この上ないポルトガル語の授業でもあります。

Semana da Educação JHSP (JHSP の教育週間)

Japan House São Paulo という文化施設で“Semana da Educação JHSP” (教育週間) というイベント週間がありました。その中に“Convite para a aprendizagem da língua japonesa - uma conexão Brasil-Japão para o futuro” (ブラジル・日本の未来をつなぐ日本語教育への誘い) という講演会があり、興味をもったので参加しました。そして、ブラジリア大学・サンパウロ大学・アマゾナス連邦大学・筑波大学・大阪大学・東京外国語大学のそれぞれの教授とブラジル日本語センターの研修コーディネーターから、ブラジルにおける日本語教育や人材育成の課題についてお話を伺いました。この講演会を通じて、留学中に行う予定の「ブラジルの日系社会における日本語教育」をテーマとした卒業研究のフィールドワークについて、新たな考えの糸口を見つけることができました。

Festa do Livro da USP (本の祭典)

11月6日から10日の5日間、USPで本のイベントが開催されました。イベントでは、出店している227もの出版社から、通常の半額以下で本を購入することができます。「何か惹かれる本を見つけられたらいいな…」という気持ちで私も会場に足を運び、レオ・レオニの『スイミー』と夏目漱石の『坊ちゃん』のポルトガル語版を買いました。あらゆるジャンルの書籍がずらりと並んでいて、見ているだけでもとても楽しかったです。



サンパウロの博物館・美術館

大学1年生の時に参加した「令和4年度ブラジル青少年派遣事業」で訪れたサンパウロ市内の博物館や美術館を、もう一度巡りました。印象的だった展示品に再び出会え、ブラジルに対する理解もさらに深まりました。

訪れた博物館・美術館

- MASP (サンパウロ美術館)
- Museu do Futebol (サッカー博物館)
- Instituto Itau Cultural (イタウ文化研究所)
- Museu do Ipiranga (サンパウロ州歴史博物館)
- Museu da Imigração (サンパウロ州移民博物館)
- Museu Afro Brasil (アフリカ系ブラジル博物館)
- Museu da Língua Portuguesa (ポルトガル語博物館)
- PINACOTECA DE SÃO PAULO (サンパウロ州立美術館)
- Museu Histórico da Imigração Japonesa no Brasil (ブラジル日本移民史料館)



🏛️ ブラジル独立の“Greto da Ipiranga”
(Museu do Ipiranga)



🏛️ ブラジル日本移民の荷物
(Museu Histórico da Imigração Japonesa no Brasil)

おわりに

充実した毎日のおかげで、11月は今までで一番早く過ぎたように感じました。もうすぐUSPは学期末になるため、最終試験やレポート課題に向けて勉強に励んでいます。12月は、すべての授業を修了した後、卒業研究のフィールドワークを本格的に始めたり、パラナ州の親戚に会いに行ったりしようと思います。